

桂山莊園林堂かつらのさんさうゑんりんだう〔下桂村しもかつらにあり、寛永の頃八条殿智忠親王ともたゞの別業しもやしきなり。園林堂ゑんりんだうの額、後水尾院ごみづのをのゑんの帝の宸翰しんぱんなり。或

カ云、今の京極家の別荘ならん歟。伝云、初めは豊太閣ほうたいかふの指麾さしあして小堀遠州こほりゑんしゅうの造れるとぞ、洛西林泉らくさいの冠かんたるものなり〕

黄葉集詞書云 寛永の頃にや、八条殿智忠親王ともたゞ都のにし桂とてしろしめす所あり、先の宮の御時よりかり庵たてをか

れし、其所しつらひ物せよとて、御みづからもいくそたびわたりまししく、たくみづかさめして様々の亭閣山ていかくを築

き石をたゝみならべ、桂川かつらがはを分て水せき入らる、花の色鳥の声、山の木だち中島わたりめづらしう見ゆ。